

きずな園 若宮校 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年

事業所名 放課後等デイサービスきずな園若宮校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			職員室と児童訓練室を分けて利用している	
	2	職員の配置数は適切である	○			利用人数等に応じて適時配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			一部段差があるのでスロープ導入を検討中
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員で業務改善について話し合いを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し、業務改善につなげている		○			運営に関してアンケートや会報などの公開等検討している。また、外部評価に関しても現在確認中
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			現在はネット上だけだが積極的に研修に参加するようにしている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童・保護者それぞれから積極的に業務に対しての意見を聞き、職員間で共有している	やり取りが負担になる親御様もいらっしゃるかもしれないので、独自でアセスメントシートを作成し1回のやり取りで簡潔出来るようにする
	10	子どもの適切行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			独自のアセスメントツールを作成する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			児童からの要望を織り交ぜながら療育にふさわしいプログラムを立てている	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○			季節の行事やSNSを活用してプログラムが固定しないように工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		大枠は決めているが細かく決める事によって個々の活動範囲が狭くなってしまふ為細やかに設定していない	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動を主とし、その中で個別の時間も作るようにしている	児童それぞれの得意・不得意なことを考慮しながら計画を立てていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日職員間で打ち合わせを行い、役割等について分担している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			電話やメッセージのやり取りで共有している	その日に気づいたことなど細かい点も共有することによって、翌日以降の児童の療育に役立てる
	17	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の連絡帳を活用し支援の検証・改善に繋がるようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			相談員・学校・児童それぞれと話し合い、サービス計画の見直しを進めている	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	○				
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	○			会議では児童の状況等を詳しく話せるものが 参画している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っている	○			電話・メッセージでのやり取りは適切に行っ ており、トラブル等が発生しないように心が けている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子供の主治医等と連絡体制を整えている		○			現在、対象児童がない為行っていないが 受け入れ要請がある場合は整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めている			○		間接的にはあったが以後直接行うようにする
	24	学校から卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する等 をしている		○			今の所そのようなお話は無いが、要望があれば 都度行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ている		○			今後取り入れていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会がある	○				公園での活動の際、行うようにしている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して いる			○		今後の積極的な参加を検討している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	○				送迎時、保護者様に児童の様子を細かく話し ており、理解を深めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っている			○		今後取り入れていく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っている	○			見学时・契約前と段階を踏んで丁寧に説明を 行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言を行っている	○			電話・メッセージ、連絡帳を 使って行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いる		○			保護者様の予定などを考慮して、今後取り入れ ていくよう検討している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ている	○				苦情等の連絡があった場合、すぐに職員間で 連携を行い迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信している			○		今後HPやSNSを活用し取り入れていく
	35	個人情報に十分注意している	○				鍵付き書庫に保管している
			チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○				分かりやすく丁寧に伝える事を心掛けている	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		今の所招待は行っていないが、地域密着型運営を目指していきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○		各マニュアルを職員には周知しておりますが、親御様へ説明不十分な所もありましたので再度徹底して参ります
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			○		訓練内容が不十分な所があったので追加行っていく
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			○	ミーティングなどで周知もするようにしている	参加を促し、職員の指導の質を上げていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			該当児童がいない為今の所必要性は無いが必要に応じて整備を行う	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			該当児童がいない為今の所必要性は無いが必要に応じて整備を行う	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			○	職員同士の話し合い・共有は頻繁に行っている	職員同士で事例を出し合うことによって、今後の活動療育に活かしていく